

教師の「魅力」を考えるシンポジウムin琉大

昨今「教員の働き方」が巷で話題になっています。日本の教員不足は加速しており、原因の1つとして“過労死ライン”を超える長時間労働があげられます。沖縄県も例外ではありません。このような状況に陥っている原因を大学で十分に学んでいるでしょうか？また、「仕方ない」と思って働いていないでしょうか？

この問題と最前線で戦っている方々から、今まで学べなかったことを学び、教師の「魅力」が最大限発揮できる働き方について皆で考えてみませんか？

毎年5000人離職してるの？

OJTで多忙を乗り越えられるの？

残業代もらえないって何事？

初耳学で言ってた給特法って何？

2019年

5月18日 土 14:00-17:00

琉球大学文系講義棟215(法文新棟215) 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

第1部 学校の日常を「見える化」する —部活動改革から働き方改革まで—

14:00~15:00

講師:内田良(名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授)

Twitter: @RyoUchida_RIRIS

子ども側の被害・損害に加えて、部活動指導の負担や教員の長時間労働などの「学校リスク」について情報を広く発信し、世論の火付け役として貢献している。著書に『ブラック部活動』、『教師のブラック残業』(斉藤ひでみさんと共著)がある。



第2部 パネルディスカッション・質疑応答

15:15~17:00 **様々な役職から見る現状**

パネラー:斉藤ひでみ(現職公立高校教諭)

Twitterを通じて教育現場の問題を訴え、改革を目指す教師を「繋げる」活動を行う。給特法改正を求める署名活動を始め(現在36000筆余り)、国への提言を行う等教員の働き方の抜本改革を訴え続ける。Twitter: @kimamanigo0815

神里竜司(現職公立中学校教諭)

黒田華(琉球新報記者)

司会:長谷川裕(琉球大学人文社会学部教授)

申し込みはコチラ



参加費 無料
お問い合わせ

主催:Teacher Aide 城間・泉田
後援:学校の働き方を考える教育学者の会

Mall:shinpo.ryukyu@gmail.com